

子育て・暮らし・ICT。
身近な声を、区生につなげています。

詳細はこちら▼



本目さよ プロフィール

1982年3月10日生

党籍：無所属 会派：つなぐプロジェクト

資格：保育士 趣味：読書、おかしづくり

好きな物：くだもの



お茶の水女子大学大学院修了。IT系人事職として、社員が働きやすい会社づくりにつとめる。2011年より台東区議会議員。3期12年間、最年少の女性議員として、そして現在は未就学児を育てる唯一の女性議員として、子育て当事者の視点から提案を行う。女性議員の少なさへの課題意識から立ち上げた一般社団法人WOMAN SHIFTの代表理事。6歳、2歳の2児の母。ママの議員インターンを受け入れ中。

SNS



ご意見・
お問い合わせ



「ほん」めの区議会報告ミニ本

Taito Report

決算で見えた、子ども・女性・ICTのこれから

vol. 60

本目 さよ



ねえ、今回の定例会って、どんな話が多かったにや？

今回はね、**決算特別委員会**が中心。
この1年、区のお金が**本当に必要なところに使われていたか**をチェックしたの。



決算って、数字を見るだけじゃないんだにや？

今回も、**こども・女性・ICTに関わる事業を中心にチェックしたの**。
子どもや家庭に関わる事業が、
ちゃんと現場に届いているかどうかを見てきたよ。



女性の視点って、具体的にはどんなところにや？

たとえば防災。
生理用品は備蓄されていても、
おりものシートのような、日常的に必要な物品が足りているかは、
あまり見られてこなかったと思う。



なるほどにや。言われてみると大事だにや。

うん。
数がそろっているかだけでなく、
中身が実際の生活に合っているか。
そういう視点で決算を見てきたよ。



暮らしに直結！注目4トピック

① AI活用

一現場で「使えているか」を決算で確認

学校ではICTやAIの活用が進んでいますが、現場によって使える環境に差があることも分かりました。

決算特別委員会では、導入の有無だけでなく、**業務負担の軽減や教育の質向上に実際につながっているか**を確認。
必要な場所で使えるICT環境になっているか
をチェックしました。

② 禁煙支援（女性・家族）

一健康を守る取り組みを「投資」として

学校で行われている「たばこの害」の授業は、子どもを通じて家庭にも影響を与えています。

決算特別委員会では、喫煙による健康リスクや医療費の視点から、禁煙支援を**将来の健康を守る投資**として位置付け、女性や家族の健康につながる支援のあり方を確認しました。

③ ユニバーサルチョーク

一子ども全員に見やすい黒板を

色の見え方には個人差があり、黒板の文字が見えにくい子どももいます。

私は**2017年の一般質問**で、色覚に配慮したチョークの導入を提案してきました。
今回の決算特別委員会で、**全小学校へ一括配布が決定**。
学びやすい環境づくりが前進しました。

④ 英検補助（こども）

一制度が、きちんと使われているか

中学3年生を対象とした英検受験料補助は、**想定約700人に対し、利用実績は191件**でした。

決算特別委員会では、受験時期と制度設計のミスマッチや周知不足といった課題を確認。
「使われる制度」にするための改善を提案しました。

homme's EYE

決算で見たことを、次につなげる

こうした問いかけの積み重ねの中で、

私が議会で提案してきた

「こどもを真ん中に置いた施策を一体的に進めるため、所管する部をつくるべきだ」という点について、
来年4月に（仮称）こども家庭部を設置する方向で検討する、
という答弁が示されました。



子どもや家庭に関わる施策を、

縦割りではなく、より一体的に進めていく体制について、
具体的な議論が進み始めています。

こんな事業、はじまるよ！

保育園などに通っていない0歳6ヶ月～2歳のこどもが、**月10時間まで**利用できる

「こども誰でも通園制度」が、**来年度スタート**予定です。